

国土交通省 淀川ダム統合管理事務所 独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所
資 料 配 布

配布	平成 21年 10月 9日
日時	17時 00分

件名	10月7日・8日 台風18号に伴う出水と布目ダム <sup>ぬのめ</sup> 洪水調節効果について
----	--

概要	<p>独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 布目ダムでは、台風18号に伴う総雨量が185mmに達しました。</p> <p>この降雨による出水に対して洪水調節を実施し、ダム下流の興ヶ原水位観測所において、水位を推定1.37m低減し、下流河川の洪水被害軽減に効果がありました。</p>
----	--

取扱	今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。
----	--------------------------------------

同時配布	奈良市政クラブ
------	---------

問い合わせ先	
国土交通省 淀川ダム統合管理事務所 電話：072-856-3131（代表）	副所長 <small>はしもと</small> 橋本 <small>かずお</small> 和夫
独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 電話：0595-64-8961（代表）	管理課長 <small>まつむら</small> 松村 <small>たかよし</small> 貴義

# 10月7日・8日 台風18号に伴う 出水と布目ダム洪水調節効果について —ぬのめ布目川（おくがはら興ヶ原地点）の水位を1.37m低減—

10月7日、午前7時頃より降り始めた台風18号に伴う降雨は、淀川水系布目川の布目ダム（奈良県奈良市）上流域では、8日2時から3時の1時間の雨量が最大33mmを記録し、総雨量は185mmに達しました。

この降雨による出水に対して、流入量が増加し、8日2時50分には洪水量（毎秒100m<sup>3</sup>）に達したため、洪水調節を開始しました。

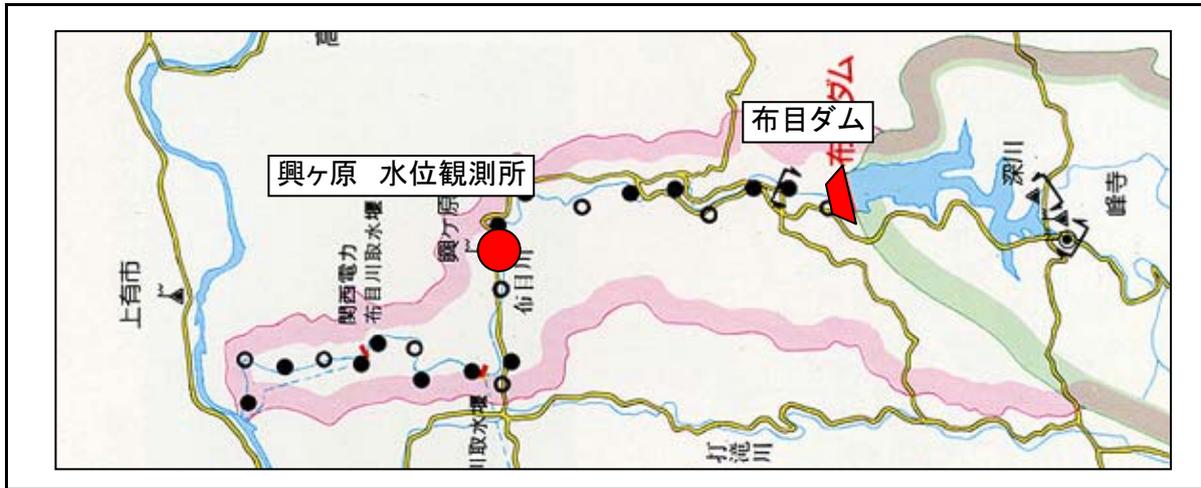
この調節では下流河川状況、木津川本川の状況、ダム貯水池容量等を把握し、ダムからの最大放流量を毎秒80m<sup>3</sup>程度にした操作としました。

8日3時50分には流入量が最大（毎秒約189m<sup>3</sup>）となりました。同時刻のダムからの放流量は毎秒約80m<sup>3</sup>であり、布目ダムで毎秒約109m<sup>3</sup>の調節を行いました。

ダム下流の興ヶ原水位観測所では、布目ダムの洪水調節によりダムが無い場合に比べて河川水位が推定1.37m低減し、下流の洪水被害軽減に貢献できたものと考えられます。

布目ダムでは、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダム効果発現に努めて参ります。

布目ダム下流位置図



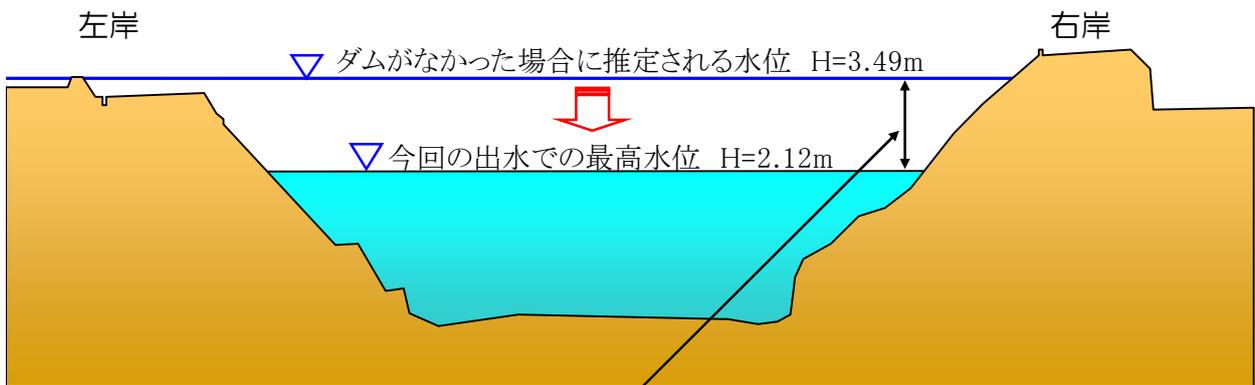
淀川流域平面図



## 布目ダム下流河川の状況

平成21年10月7日(台風18号)

### 布目ダムの洪水調節状況(興ヶ原地点)



ダムによる水位低減効果は、約1.37mと推定されます。

写真 興ヶ原地点  
平常時



洪水時



※平成21年10月8日 8時50分時点撮影

水位=2.06m

### 布目ダム操作概況図

水系名=淀川 河川名=布目川 ダム名=布目ダム  
雨量(mm)

